

翰林大学校日本学研究所・立教大学日本学研究所主催

東アジア文化権力研究学術フォーラム 「伝統と正統性、その創造と統制・隠滅」

企画趣旨

今日の日本において伝統的なもの、正統性のあるものと考えられているもののなかには、実際には歴史の浅いものや、恣意的に創造されたもの、過去の姿から大きく変容しているものも少なくない。このフォーラムでは、近代・現代の日本において、主に日本文学・文化にかかわって伝統や正統性を創造・統制・隠滅する動きについて、前近代からの連続性を意識しながら、5人の報告者の報告内容（戦争と軍記・能楽史・政治思想・和歌と短歌・女子教育）をもとに考える。

プログラム

- 9:00 受付開始
- 9:30 - 10:00 開会 趣旨説明・各講師挨拶
- 10:00 - 11:30 研究発表〈午前の部〉
- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 秀吉の時代を語る言葉——中世軍記の裾野 | 鈴木 彰 (立教大学) |
| 国民国家の「正統性」を表象する文化——近代能楽史から考える | 徐 禎完 (韓国・翰林大学校) |
| 国民国家と天皇崇拜 | 宋 錫源 (韓国・慶熙大学校) |
- 11:30 - 13:00 昼休み
- 13:00 - 13:30 中間討論 (進行: 徐禎完・鈴木彰)
- 13:30 - 14:30 研究発表〈午後の部〉
- | | |
|---|---------------|
| 応用される勅題とその受容またはコミュニケーションの諸問題——歌会始の外縁に注目して | 松澤俊二 (桃山学院大学) |
| 皇后美子にみる女子教育と日本の近代化——漢学を手がかりとして | 榊原千鶴 (名古屋大学) |
- 14:30 - 15:00 休憩
- 15:00 - 17:00 総合討論 (進行: 徐禎完・鈴木彰)
- 17:00 閉会挨拶

【日時】2020年11月28日(土) 9:30～17:00 (※9:00 受付開始)

【場所】オンライン開催 (Zoom ミーティング)

【主催】立教大学日本学研究所・翰林大学校日本学研究所

【参加方法】11月24日(火) 16:00 までに下記申込先のメールアドレスに申請

【申込先】japan@hallym.ac.kr (氏名・フリガナ・所属・専門領域を記入)

【対象】一般公開 (要事前登録)

【使用言語】日本語

2017 韓国研究財団 人文韓国プラス (HK+) 人文基礎学問分野〈ポスト帝国の文化権力と東アジア〉関連事業

お問い合わせ: 翰林大学校日本学研究所 (japan@hallym.ac.kr) 立教大学日本学研究所 (nihongaku@rikkyo.ac.jp)